



今月のテーマ 『基本的教育と識字率向上月間』

第1445回例会

2016年9月8日 Vol.31/No.9

■本日の例会 / 第1446回 平成28年9月15日(木)

- 会長・幹事報告
- 各委員会報告……………各委員長
- 前年度出席 100%表彰……………出席委員会
- ゲスト卓話……………宮崎県立看護大学 大館真晴 教授

【出席率状況報告】

- ・会員数……………54名
- ・出席者……………33名
- ・欠席者……………21名
- ・出席率……………61.11%
- ・8/25の修正出席率……………87.04%

■会長挨拶



会長 香川美穂子

台風12号・13号は宮崎をうまくそれてくれましたが、今年は思いがけない地域にいろんな災害が起きております。4日の夜NHKで「シリーズ巨大危機」と題して異常気象について報道していました。温暖化の事は随分前から報道されていましたが、なかなかそれを止める事ができず現在に至っています。今回の番組でも「今世紀末には平均気温が4度上がってしまう」と言っていました。そうなると地球の環境が変わり農作物にも当然影響が出るわけで、現在作られている稲作も現在の土地には合わなくなるでしょう。海水温が変わって獲れる魚の種類が変わって来ている事が言われて大分経ちますね。当然自然界の生態系も変わりますから毒を持った南方系の生物が日本にも入り込んでくるでしょうし、それに連れて病原菌も入ってくる事を思うと恐ろしい気が致します。今回あらためて知った情報は日本から5000キロ離れた北極圏で研究をしておられる日本の学者方の事です。その土地の永久凍土が融け始め、閉じ込められていたメタンガスが放出し温暖化が加速しているという事です。この番組の少し前にやはりテレビで北極の水が融け始め、その水の上で生活しているアザラシの子供が泳げるようになる前に水から落ちて死んでいくのを助けているロシア人の事を放映しており、「温暖化の影響がこんな風にも起きている」と驚きましたが、メタンガス放出の方はもっと深刻に感じました。しかもその結果雷の発生がこれまでの1.5倍となり避雷針では処理ができないとのこと。凄まじい雷発生で現在の我々の生活は機能停止となるそうで、大会での生活は大混乱でしょう。解説の学者は「もう後戻りできない時代」と断言されていました。

あれだけ「温暖化」が懸念され前から「将来は想像を超える気象状況が起きる」と学者方に警告を寄せられていたにも拘わらず、ついには「もう後戻りできない時代」と言わしめている我々人間の生活。アフリカ・インドの事を思えば人口増加は当然すごいスピードで起きてしまいますし、後から生まれた彼らだって我々が今享受している「快適な生活」を送りたいはずです。幸運な事に第二次世界大戦のあと日本は着実に国力を回復し現在は何の不自由もない贅沢な暮らしをしていると思います。しかし地球の資源には限りがあります。幸運な我々だけがそれを使い贅沢な暮らしをして良いという事ではないでしょう。ロータリーは世界規模のクラブです。大きく目を開いて全体的な意識で生活を見直したいものです。私は宮崎に住み始めて驚いた事の一つに駐車中の車にエンジンがかければなしという事があります。我が家のすぐそばにコンビニがありますのでそこでの経験ですが「チャット買い物」という時にエンジンを切っていないのです。「クーラーが止まるから戻った時暑い」という事でしょうか？昔の車じゃあるまいし「温めておかないとエンジンのかかりが悪い」という事でもないでしょう。私はそれを目にした時、日本に帰ったばかりでしたから「なんと平和な国！」とまず思いました。これが海外でしたらすぐに車は盗まれるでしょう。その次に「排気ガスを余計に出して！」と腹が立ちましたし、その車のすぐそばを通る身としては「いつ動き出すか怖い！」とさらに腹立たしく思いました。要するに自分の事しか考えていない人の仕業だと思うのです。自分の行動が他の人にどんな思い、迷惑をかけているのかを考えていないからそういう事をするのでしょう。昔は「横着者め！」と言われましたね。めんどくさくなって手を抜いているのですね。「横着」という言葉は今は「死語」でしょ

うか？先週言いましたが「薬は苦の種」とならない事をその方のために願います。

つい先日宮日新聞に日本人の骨格が生活によって変わってきている事が書いてありました。歯医者さんが書いておられました。武士だった時代の将軍は硬いものを食べてアブのエラが張っていたが、江戸時代になり貴族達との結婚や全国から集められた甘くて柔らかい高級食を食べるようになって顔の形が公家顔の細いものになりました。21歳で亡くなった14代将軍は歯の97%が虫歯だったそうですし多分糖尿病もあったのではと書いてありました。そして今は昔なら一部の人しか食べられなかった甘くて柔らかい食事が何時でも取れるようになり「切れやすい子」の存在もこれに関係していると言及しておられました。「切れやすい子」の食事については以前にも本も出ましたし話題になったと思います。毎日毎日の生活の有り様が積み重なって人の一生を左右する事となります。ついつい「よだき〜」と横着して見逃している事が実はとても大事な事なのかもしれません。心して暮らして行きたいものです。ロータリーのクラブライフも「いいっちゃが!」「そうやってきたっちゃが」と見逃さず、一つ一つ「4つのテスト」に照らし合わせながらチェックして「より良いもの」にしていけたらと思います。

■幹事報告

幹事 江藤敏治



嬉しいことに8月18日の修正出席率が87.5%でした。常時80%以上を目指したいですね。指宿にて開催される地区大会のご案内です。是非20名で参加したいと考えています。9月20日が最終申し込み締め切りとなります。

今週の健康ミニ情報はマイコプラズマ肺炎と麻疹です。マイコプラズマ肺炎は今宮崎でとても流行している肺炎です。しつこい咳、微熱が続く場合マスクをつけて病院に行ってください。仮に周りに患者さんがいた場合その旨を受付で言っても下さい。麻疹も前年度比2倍以上の患者さんが発症しています。特に20代後半から50代の男性は麻疹に対する抗体を持っていない可能性があります。妊娠可能性の方と同居されている、小さな子供がいるという男性は是非抗体検査を受け、抗体を持っていない場合はワクチンをうって下さい。

どうぞよろしく願いいたします。

■7回目の

ポールハリス
フェロー表彰



秦 喜八郎 会員

■台湾派遣留学を終えて

岩元萌葉 様



10日間の派遣留学を終えました。私は2回目の台湾でしたが、一回目のプライベートで行った時とは全く違う形で台湾を経験したように思います。食べたことのない食べもの、飲み物に挑戦し、行ったことのない場所に行き、経験したことのない経験をし、知らなかった知識を蓄え、様々な方々と出会い、10日間という短い期間で、たくさんの思い出ができた、と感じています。10日間というのは、本当にあっという間で別れが本当に本当に惜しかったです。

たくさんの思い出ができましたが、私が最も嬉しかったことは台湾のロータリアン、アクトのメンバーが私たち2人を家族のように迎え入れてくださったことです。確かに、宮崎中央ロータリークラブからの留学生であるし、交換留学という形もあるので、優しく迎え入れてくださるという予想はしていたのですが、本当の家族のように暖かく迎え入れてくださるその気遣いというものに、とても感激しました。台湾のアクトメンバーとロータリアンの関係というのもまた、家族のようで、お互いが感謝と心遣いを忘れず、笑顔を決やさず、素敵でした。アクトのメンバーの仲もよく、私たちの毎日のスケジュールをみんなよく話し合っていて、共有しあっていて、チームワーク抜群でした。

私たちのお世話を特によくしてくれたのが、アクトのメンバーのリーダー、マヤという子でした。私たちと同世代だったので、話しやすく、よく3人でおしゃべりをしました。私たちは朝起きるのが遅かったり、早く起きても準備が遅かったりしたので、マヤから毎日怒られていた気がします。

でもマヤは私たちのために、毎日毎日スケジュールの確認をしてくれたり、飲み物の確認を

発行/宮崎中央ロータリークラブ

●事務局 〒880-0804 宮崎市宮田町10-25 宮田町ビル TEL.0985-22-6767 FAX.0985-22-0288
●例会場 〒880-8545 宮崎市山崎町浜山 シーガイアコンベンションセンター TEL.0985-21-1155(毎週木曜 12:30~13:30)
会長/香川美穂子 副会長/三輪修珍・田中 寿 幹事/江藤敏治